

## **2021年度 事業計画**

2021年4月1日～2022年3月31日



## ＜2021年度 事業計画＞

(2021年4月1日～2022年3月31日)

### ＜考え方＞

2020年はコロナ対応を余儀なくされた1年でしたが、同時にこれまでの常識が大きく変わり、新しいビジネス様式における広告の価値が再考された1年でもありました。

大きく変革する広告業界の中で、私たちJAAAは、新しいマーケティング、新しいクリエイティブ、新しいビジネスチャンスを的確に捉え、時代を変えるエンジンとならなければなりません。ここに掲げた新しいビジョンのもと、JAAA会員社が一丸となって、広告業界の新しい姿を創造するためのアクションを推進していきます。

### ＜ビジョン＞

**「広告業界の未来のために、JAAAは広告の価値と魅力を創造し向上させるエンジンとなる」**

### ＜アクションプラン＞

#### 1. 業界協働スキームによる共通課題の解決

業界が共通して直面する課題を解決するために、これまでの枠組みを越えた協働スキームを推進する。業界団体と連携して、働き方改革やメディア活性化などのビジネス課題を共有・解決すると同時に、協会内においても委員長会議や委員会横断テーマを積極的に活用し、共通インフラ整備など新たな領域にチャレンジする。

#### 2. 若手人材の育成、業界の人材確保

広告業界の未来を創る若手人材の確保と育成は、業界にとって最大のテーマである。メディアやクリエイティブを含めた委員会横連携による若手へのセミナー、若手がつながる場づくりなど、新しいチャレンジを通じて若手の成長を支援する。また、業界団体とも連携して、業界を目指す若者へのアプローチを強化する。

#### 3. 「メディア×デジタル×クリエイティブ」への対応強化

メディア、デジタル、クリエイティブは、それぞれ単体で議論できるものではない。ビジネスの根幹を支えるメディアの活性化、成長の柱であるデジタルの健全な市場成長、業界のコアコンピタンスであるクリエイティブの強化・発展のために、これからの広告ビジネスモデルに必要なスキームを構築して業界全体の成長を支援、推進する。

#### 4. 会員社サービス強化と対外アピール活性化

業界の成長のために、広告と広告業界の価値と魅力を創造し、向上させることが重要となる。魅力あるセミナーや主催する各賞のアピールなど、協会の活動を通じてJAAAの存在価値を内外に示すと同時に、会員社の声を吸い上げ、必要な情報を必要な人に届ける活動を通じて協会内の課題解決力を強化、広告業界および広告会社の成長に寄与することを目指す。

以上、J A A Aの重点事業として、4つのアクションプランを掲げました。全てに共通して言えるのは、ビジョンとして掲げた「広告の価値と魅力を創造し向上させる」ことの重要性です。広告業界は、デジタルの進展でこれまでにない変革を余儀なくされ、コロナによってそれがさらに加速されることになりました。これまでの常識が変わり、生活者の意識も変わる中、広告の価値が改めて問われており、その魅力も見直されなければなりません。

そのために必要なのが、業界を越え、広告領域を越えた協働スキームです。協会内のスキームにとどまらず、業界全体のためのインフラ整備や、業界を越えたハイブリッドな事業スキームも含めて、すべての委員会が新たなチャレンジをすることが重要です。

また、これからの広告業界を支えていく若者にスポットを当て、彼らが生き生きと働き、成長できる環境を作ることもまた、協会の責務であると考えています。いま業界で働く若手だけでなく、これから業界を目指す若者にも、広告の魅力をもっともっと強く発信していかなければなりません。そのためにも若手が元気で活躍できる場づくりを目指します。これは広告のミライに向けたアクションプランでもあると自覚しています。

そして新たに掲げたテーマが「メディア×デジタル×クリエイティブ」です。これからは、デジタルのない広告ビジネスはありえません。広告業界にとってビジネスの柱となるメディアも、クリエイティブも、マーケティングも、すべてがデジタルを基盤として動きます。業界にとっての大きな意味でのデジタルトランスフォーメーションを支援する、そのための施策を検討し、推進していきます。

これらすべてが、会員社へのサービス提供であり、会員社の成長を支える施策であると考えています。セミナーや説明会など、具体的な活動を通じて会員社とのつながりをますます強く、太くしていきたいと思えます。

これからの広告業界を作っていく、その思いを込めたビジョンをJ A A Aから発信し、活動を推進していきます。上記アクションプランを通じて会員社の皆さんと協力し合い、ゴールを共有したうえで、今後それぞれの委員会や協働スキームを通じて、具体的なアクションに繋がっていきたくて考えております。

会員社の皆様のご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

## <各委員会 事業計画>

### **ビジネス統括委員会（統括委員会）**（委員長：前田 真一）

変革する広告業界における様々な課題を総括し、統括する各委員会での検討を進めると同時に、協会横串の「プロジェクト」や「委員会」などに協力し、横断して課題を解決する体制で活動に取り組む。

### **経理委員会**（委員長：三宅 大）

会員社に必要な経理情報を共有するとともに、業務のシステム化や業務の効率化など、業界全体の課題を集約し、検討を進める。

### **情報システム委員会**（委員長：川上 勲）

定例の「情報システムアンケート」を通じて、業界のIT課題、インフラ課題を共有し、業界全体の課題解決のための施策を検討する。また「オフィス365」「情報セキュリティ」「事業継続計画」ワーキングは継続し、現状把握と検討を進める。

### **法務委員会**（委員長：長谷川 雅典）

広告会社の法務における課題を集約し検討すると同時に、関連団体と共同で広告法務セミナーを実施し会員社への情報発信を行う。また広告業界に関わる法律への対応やパブリックコメントの作成など、業界全体の課題にも対応する。

### **制作取引委員会**（委員長：沼澤 忍）

業界の制作領域の課題であるCMオンラインへの対応や字幕付きCM普及など、具体的なテーマに関する活動を進めることで、業界全体の広告業務の推進に貢献する。

### **営業委員会**（委員長：降旗 淳）

業界における営業全体の課題に関して、委員長を中心に他の委員会に協力すると同時に、新たな課題を発見、解決策を提示することで現場の支援を行う。

### **著作権委員会**（委員長：小竹 伸幸）

広告表現における著作権の課題に対応すると同時に、知的財産権や表現規制などについて、官公庁等への業界対応やJ A A等からのセミナー要請への対応を行う。

### **広告の機能と役割研究委員会**（委員長：松本 順）

広告の「機能と役割」を調査分析し、セミナーや発表会等を実施、会員社にナレッジ発信を行うことで広告の価値向上を目指す。

### **CSR委員会**（委員長：木下 浩二）

企業でも関心が高まっているSDGs（持続可能な開発目標）をテーマにポスターを募集し配布することで意識醸成を行う。また冊子の発行、セミナー、JAAAレポート等を通じて、広告会社にとってのソーシャルテーマに関する情報発信・啓発を行う。

### **広告問題研究委員会**（委員長：北原 利行）

広告業界に関わる官公庁関係の情報を会員社に共有、また随時必要なテーマでの研究活動を推進することで、会員社にとって必要な情報の収集及び発信を行う。

### **メディア委員会（統括委員会）**（委員長：石川 豊）

業界のメディア課題を総括し、連携して課題解決を図る。具体的には、テレビCMオンライン送稿のさらなる定着と推進、ネット広告の品質課題に関する業界連携の組織JICDAQの立ち上げ、OOH領域での新たな指標開発など、メディア全領域での活動を検討、推進する。

#### **<CM素材オンライン運用推進プロジェクト>**

2020年度に地上波系列局全局への送稿が可能になったことを受け、会員社・協力機関・関係団体への説明や周知活動等を通じて、テレビCM素材オンライン運用のさらなる普及に努めると同時に、次世代型運用のためのスキーム作りの検討を進める。

#### **<OOH新共通指標策定プロジェクト>**

コロナ禍によりOOH媒体を取り巻く環境が変化していることを受け、新しい視点で媒体価値を向上させ、OOH媒体が信頼され活用される環境を整備、啓蒙していく。

### **テレビ委員会**（委員長：磯村 美樹）

- ・「字幕付きCM普及推進協議会」の推進に向けて、広告主の運用効率を高めるための施策を検討・推進する。
- ・「有事に関する懇談会」では、関係団体の協議を行い、震災や大雨、水害等における事前対応の検討を行う。
- ・放送確認書誤記載調査を実施、民放局に対して放送確認書発行ルールの注意喚起を進める。また、次世代の放送確認書の在り方をメディア業務改善委員会と協働し民放連と検討する。
- ・テレビビジネスの活性化に向けて、業界全体を巻き込んだ「テレビフォーラム」開催について具体的な企画検討を行う。

### **ラジオ委員会**（委員長：大木 秀幸）

ラジオ媒体の変化やターゲティング配信可能なオーディオアドの動きなどを会員社と共有し、セミナー等を通じてラジオ広告の活性化を推進する。また昨年開始したCM進行表のオンライン化を推進し、定着させる。

#### **新聞委員会**（委員長：榎本 規成）

新聞広告の価値向上のために、新聞活性化のための企画検討、セミナー等施策推進を行うとともに、恒例となったJ A Aとの共催セミナー実施も推進する。また、新聞広告掲載確認調査やN-PDFの推進等における日本新聞協会との協働など、新聞広告の運用に関する課題解決に対応する。

#### **雑誌委員会**（委員長：森 紀一郎）

雑誌広告の価値向上のために、セミナー等を通じて雑誌の活性化を進めると同時に、雑誌広告のデジタル化、オンライン送稿普及に向けた課題解決を推進する。

#### **交通広告委員会**（委員長：菊田 眞弘）

関係団体との連携、情報交換をベースに、交通広告の価値向上と活性化に資するセミナー等を開催するなど、O O H全体の課題解決につながるテーマを視野に入れて活動を推進する。またO O Hプロジェクトを通じて、交通広告の媒体価値を高める活動を推進する。

#### **インターネット広告委員会**（委員長：石川 直樹）

ネット広告品質課題に対する第三者機関「J I C D A Q」を立ち上げ、業界全体のデジタル広告の健全な成長を支援する。また、アドテック等の場を使ってJ A A A活動をアピールするほか、会員社のネット広告ナレッジ向上のためのセミナー等を検討、推進する。

#### **メディア調査研究委員会**（委員長：河村 徹生）

関係団体や企業との情報交換をベースに、新視聴率や今後の広告統計等についての検討を進めるほか、O O Hプロジェクトなど各メディアの課題解決の支援を通じて、会員社への情報提供と課題解決を支援する。

#### **メディア業務改善委員会**（委員長：井上 聡）

テレビCM進行まわりの標準化、次世代オンライン送稿のシステム検討など、メディア業務の業界インフラの課題解決に向けた提案、解決策の検討を進める。

#### **クリエイティブ委員会（統括委員会）**（委員長：能登 健裕）

クリエイター・オブ・ザ・イヤー賞の選考発表を通じて、クリエイティブの力を世の中にアピールすると同時に、受賞者の講演など会員社向けセミナー等を開催することで、業界のクリエイティブ力強化と、業界若手の育成を推進する。また賞実行ワーキンググループと協働して、賞と選考（規約、体制）のあり方等を見直していく。

### **マネジメント委員会（統括委員会）**（委員長：未定）

2021年6月より新設の委員会。従来の統括委員である人材育成委員会およびPR委員会傘下の事業委員会のくくりを再編し、会員社のコーポレートガバナンス・人材育成等をテーマに業界全体のマネジメント課題を共有する。

### **人材育成委員会**（委員長：松浦 啓子）

昨年度開催できなかった「新入社員教育セミナー」の開催と「フォローアップセミナー」継続を通じて、新人の基礎知識向上とワークショップによる同期意識の醸成を行い、会員社の若手育成をサポートする。また、広告会社の魅力を若手に伝える試みとして、キャリアプランをテーマとした大学生対象セミナーを継続実施するなど、業界全体の人材育成というテーマに関する検討を推進する。

### **広告ビジネス入門発行委員会**（委員長：中馬 淳）

2022年の改定に向け、冊子の在り方や内容の精査など、準備を進める。

### **懸賞論文委員会**（委員長：太古 益樹）

第51回を迎える懸賞論文の募集・審査を行い、結果を業界内外にアピールすることで広告への課題意識を共有、問題提起を行う。また論文の応募促進や今後の方針など、継続して今後に向けた検討を行う。

### **海外交流委員会**（委員長：高橋 修）

昨年コロナ過で開催できなかった海外研修について、その意義や開催内容について検討を行い、会員社のグローバルナレッジ向上をサポートする。また、海外事例をもとに会員社向けのセミナーを行うなど、業界若手のグローバル知識強化のための施策を推進する。

### **イノベーション委員会**（委員長：未定）

「広告業界の若手が選ぶコミュニケーション大賞（JAAA若手大賞）」の募集、審査、選考とそのPRを行うことで、業界の若手のイノベーション意識向上に貢献する。

### **PR委員会**（委員長：山崎 正道）

業界活動を内外にアピールする施策を今後も継続して検討し、新たな施策を進めることで、より多くの会員社に有益な情報を届けるための環境整備を行う。また「広告の広告」の掲載についても、継続して実施すると同時に、その意義や役割についての議論を行う。

### **会報編集委員会**（委員長：高澤 正行）

JAAAウェブサイトにてJAAA REPORTSの記事掲載を継続のほか、情報をより多くの会員社現場に届けるための施策を検討、実施する。またSDGsや若手世代インサイトといった会員社の関心の高いテーマを取り上げ、会員社の業務に資するよう情報発信力を強化する。

**新しい働き方委員会**（委員長：今泉 智幸）

広告会社の働き方が、コロナ禍の状況を受けて大きく変化していることを受け、ヒアリングやレポート等で会員社の情報を集約し、その取組みを紹介するセミナーを開催するなど、広告業界全体の働き方改革をサポートしていく。

**運営委員会**（委員長：植野 伸一）

理事会提出議案、及び協会運営に関する事項について検討を行う。直轄の各機関では以下の活動を行う。

**入会資格審査委員会**（委員長：大塚 尚司）

入会申請のあった法人に対しその資格審査を行い、また、入会促進活動の強化を進める。

**財務委員会**（委員長：植野 伸一）

作成された予算進捗についての審議と、次期予算案についての検討を行い、理事会に諮る。

**吉田秀雄記念賞選考委員会**（委員長：未定）

吉田秀雄記念賞を選考し、受賞者を定時総会記念式典にて贈賞する。

**役員選挙管理委員会**（委員長：丹羽 信一）

役員候補者（任期2年）選挙の対応を行う。